

本年度のリアル展示会有無

Q1 イベント(燕三条ものづくりメッセ)開催の大部分がオンラインになるのか？

A1 事前 PR を含めほとんどの部分がオンラインになります。リアル展示会は開催いたしません。

出展者の展示会当日の体制

Q1 出展企業は当日に何をするのか？ オンライン商談ができるという以外は、特設サイトにバナーとPR動画を置いて、自社サイトに誘導を促すというイメージになるのか？

A1 概ねその通りです。商談の対応や、リアルな展示会と同様、他の出展者ページを見て回るなどしてください。

Q2 当社はWeb会議の経験がないが、出展者は社内で、オンラインでやりとりするのか？

A2 アクセス閲覧者への説明や商談の対応は社内の端末で行う事になります。会期中は、社内にスタンバイしてください。

Q3 閲覧者は大分類・中分類から出展企業を探すか、キーワード検索で出展者ページを見に来ると思う。従って出展者側はいつ閲覧者からのアクセスがあっても対応できるように。窓口となるパソコンを常に開けて待っていないといけないということか？

A3 基本的にはそうなります。待機中にそのパソコンで他の仕事もできるようになると思います。

Q4 出展者が他の出展ページを見るためにはもう1台の端末を用意する必要があるか。

A4 出展者の体制にもよります、複数台の端末があったほうが使いやすいと考えられます。

Q5 閲覧者がコネクトボタンを押したときに、出展者側が設定したデバイスやメールアドレスに通知がくるシステムが欲しい。せっかくのオンラインなので、一日中PCの前に居ることは無駄である。

A5 ご意見として承り、検討をさせていただきます。

PR動画の作成

Q1 動画作成は1社につき1作だけか？

A1 (燕三条地域企業用に)当センターで作成する動画は1社1作です。

Q2 出展者で用意したものを表示することは可能か？例えば機械の説明に使うため、機械ごとに5つほどの動画を出展者ページ上に表示することは可能か？

A2 出展者で作成した動画を使用することも可能ですが、出展料の減額はありません。

機械ごとの動画を表示したい場合、オンライン見本市のページから各社のホームページにリンクして頂き、そこで機械ごとの動画を見てもらう方法などがあります。この機会にオンライン向けの新たに作成したものを準備して自社ホームページに載せるなどオンライン見本市ページをご活用してください。

Q3 新潟市内など「その他の企業」の場合、依頼して有料で動画を作成してもらうことは可能か？
または作成業者を紹介してもらえるか？

A3 現段階で動画作成の委託業者が決まっていませんので、今後の検討事項とさせていただきます。
当センターがどこまでサポートできるか不明ですが、業者の紹介は検討します。

なお撮影場所を燕三条周辺としたのは、新型コロナウイルス感染対策で国内の移動が制限される恐れがあるため、今後規制が緩和されて、他の撮影場所の要望があれば調整させて頂く可能性もあります。

各社の紹介ページ

Q1 会社ページへの URL への貼り付けに数の制限などはあるか？

A1 詳細の仕様は調整中なので、今後仕様が決まり次第出展者に通知させていただきます。

Q2 動画の形式やサイズに指定はあるか？

A2 詳細の仕様は調整中なので、今後仕様が決まり次第出展者に通知させていただきます。

Q3 企業の PR 動画をランダムに再生してくれるシステムが欲しい。リアル開催のように閲覧者がなるべくまんべんなく回れるような動線誘導の仕組みをお願いする。

A3 ご意見として、オンライン見本市ページの作成に反映させたいと思います。

オンライン商談

Q1 オンライン商談の事前予約のような形は考えているか。会期は2日間だが、それより一週間前から商談の予約を受け付けるなどの仕組みやアナンスなどは考えているか？

A1 事前予約も考えています。10 月前半に設定している「見本市ページの調整」の期間中に商談アポイントメントの動作確認や事前予約の受付開始などを予定しています。

Q2 会期当日の商談アポイントメントとして、事前予約なしで当日に面談をしたい場合、その会社がいつだったら空いているのかをどの様に「見える化」するのか、その方法を教えて欲しい。

A2 スケジューラーのようなものがページに埋め込めないか検討しています。出展者、面談希望者は面談の空いている時間帯を見ることが出来ます、誰と面談するかは面談希望者には表示されないなどのイメージです。どこまで作り込めるのかは検討させて下さい。

Q3 商談の対応にあたる人は、社長だけでなく営業社員など複数いる企業もあるので。オンライン商談会も複数人が同時進行で商談できる仕組みが欲しい。

A3 通常の対面の商談会であれば複数同時進行の商談は当然であり、オンライン形式でも必要と考えています。これからページを構築していくなかで検討していきます。

Q4 オンライン商談における3者間のやり取りとして。例えばあるメーカーの製品をPRした場合、アクセスするお客さまと、当社、メーカーの3者が同時にチャットなどで打合せをすることが可能か？

A4 ご意見として、オンライン見本市ページの作成に反映させたいと思います。

自社アンケート

Q1 通常の展示会では当ブースに来場した人にアンケートをお願いしている。今回はそのようなことができるか？

A1 現段階(6月12日、制作企業公募期間中)でページの仕様は詰めていないが、リアル展示会のように出展者が個々にアンケートを取ることは難しいと考えています。

アクセス解析

Q1 自社の紹介ページにアクセスしてきたお客さまの情報は後で受け取れるか？

A1 アクセスしてきた人の情報は、全体としては必要な情報を回収して解析します。出展者にどの程度まで情報提供できるか検討中です。

機材のレンタル

Q1 当社は必要な機材を準備していないが、いつ頃に詳細が決まるか？

A1 なるべく早い段階で案内できるようにします。ただ(準備や慣れなど)長く使用することを考えると購入したほうが安い場合があり、Webカメラなどは3,000円~で買えるものもあります。今後、仕組みややり方なども提案させていただきます。

パンフレット

Q1 リアル開催のときのような事前配布用のパンフレットなどは作るのか？

A1 燕三条ものづくりメッセ事前配布パンフレット(A4裏表くらい)は電子版を作成予定です。

会期終了後のオンライン見本市ページの維持

Q1 展示会終了後、どのくらいの期間でページを維持する予定か？

A1 半年~1年弱を考えている。

参考となるオンライン展示会の事例

Q1 参考となるオンライン展示会の事例があれば教えてください。

A1 4月から今までにインターロップ、テクノフロンティアなどIT系の展示会があります。

<https://www.interop.jp/>

<https://jna-tf.com/virtual/>

たいていは実際の展示会の様子を基に3D画像で作り、画面のブースをクリックするとブース内に入れるなどバーチャル形式が多いですが、(今回計画している)オンライン見本市「燕三条ものづくりメッセ2020」は100社以上の出展者を予定していて、ブース数が多くなり、そのやり方ではアクセスする展示ブースを選びにくいことが想定されます。

そのため独自の形式ですすめていく予定だそうだが、バーチャルの参考になるところは取り入れていきたいと考えています。

また海外では来週(6月15日~6月24日)に広州交易会(中国)のオンライン展示会が開催されます。

<https://www.cantonfair.org.cn/en>